

お客様紹介

永瀬石油株式会社
パートナー浜田サービスショップ 様

〒697-0023
島根県浜田市長沢町87番地8
TEL 0855-22-4466
FAX 0855-23-1832
URL: <http://www.nagaseoil.co.jp>



永瀬石油(株)様では、浜田市で唯一のSSであり、市内に近く、次から次へとお客様が来店されます。

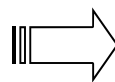
災害を乗り越え、再出発

8月23日から24日未明にかけて、島根県西部を襲った大雨の影響で、給油所横の山肌が少しずつ崩れ、ついには土砂が防火壁と共に地下タンク通気管と洗車機を押しつぶしました。

福島店長はじめ協力会社による復旧工事に全力で取り組み、10月12日に仮オープンし、11月2日から4日まで、オープンセールを迎えることが出来ました。



災害直後の崩れた山肌



復旧工事が終わり、とても立派になった防火壁、通気管、洗車機です。



写真左より、塩満様、店長の福島様、入社1年目のフレッシュな濱吉様。当SSは、完全に立ち直って再出発しています。元気いっぱいの明るい声がSS内に響きます。是非、立ち寄ってみてください。

お客様に声掛けしていただいて、大変ありがたい。笑顔で頑張ろう！

「休業中はお客様にご迷惑をおかけしましたが、オープンしてからお客様に戻っていただき、大変感謝しています。不安な気持ちもありましたが、改修して心機一転、スタッフ皆が張り切っています。」と福島店長からうれしい言葉を頂きました。

当店は、益田市の191店とともに、西部地区の拠点として重要な位置にあり、島根県西部を盛り上げています。

「お客様に来店してもらえ、みんな楽しく仕事ができるようにしていきたい。車輛整備士が2名おり、車に関して詳しく丁寧にアドバイスいたします。車のことでお困りのことは、何でもご相談下さい。」と頼もしい言葉を頂きました。(聞き手：長野)

松江市危険物保安協会創立60周年 ...消防音楽隊の演奏で祝う

本協会は、昭和28年11月20日に設立され、60周年を迎えることになりました。官民が一体となって、地域の防災に対して積極的に関わってこられました。

このような活動に欠かせないのが松江市消防音楽隊です。音楽を通して、地域の皆様の防災意識の向上をはかるとともに、ひとときの安らぎを提供していただけるのです。

本日も消防音楽隊の演奏が本会を盛り上げ、今後ますますの安心・安全な地域の発展に貢献していけると信じます。

(長野)



松江市消防音楽隊の演奏です。勤務時間をやりくりし、練習を重ねられ、最高の演奏でした。

和食の無形文化遺産登録に思う

12月4日、ユネスコ(国連教育科学文化機関)は、「和食 日本人の伝統的な食文化」を無形文化遺産に登録することを決めた。

既に日本食は世界的なブームになっており、そんな中での登録決定は少し遅いのではないかとも思えるが、日本食が世界で認められたことは、日本人として大変誇りに思う。

しかし世界で日本食が食されるようになった一方で、日本の食文化が失われつつある事を危惧する声もある。

昔の日本料理は、四季に応じて季節の特長を生かした料理だったのだが、保存技術や流通の発達により季節感が失われ、いつでも何処でも一年中変わらぬ料理を食べることができるようになった。「旬」がなくなってきたのである。

合わせて、食の欧米化や核家族化により「おばあちゃん自慢の」とか「我が家の」といった日本の家庭料理もなくなってきている。

実家を離れて仕事をされている方、今度の正月に帰省した時には、是非ふるさとの料理を食べてみてはどうでしょうか。(安原)

鳥取営業所~information~



11月27日に環境整備が行われ、構内やのり面の草刈をしました。新入社員の宮北社員も参加してくれました。草刈機の使用ははじめてだったようですが、判らないことは何度も質問し、積極的に行動してくれました。倉庫内の整理整頓も行い、構内外がすっきりきれいになりました。

元気の出る言葉

中村天風師

不平不満を言わず、「正直・親切・愉快」を生活のモットーとする。

日々の平穏な生活に感謝し、謙虚に生きるべきと感じる。

過ちをおかさず、他人に優しく、笑いを忘れずに楽しく過ごしたい。

(長野)



「山椒(さんしょう)の実」秋に赤い実になり、割れて黒い種子が出てきます。干した実も香辛料になります。

君に成功を贈る

中村天風述
日本経営合理化協会刊



何度も登場する本です。

今回こんな新しい発見がありました。松下幸之助翁が若い頃、まだ長屋で徒弟工を使って電灯の線を結びつける仕事していたころ、すでに天風会で天風師の教えを受けていたというのです。

「思えば、四十八年前、そのとき世界的に有名な電機王になるなんてことは、私はもちろん、本人も思っていなかったでしょう。しかし若いときの彼は、普通の人の聞き方とぜんぜん違っていましたよ。聞き方が一生懸命であっただけに、受けとり方も他人よりはるかに内容量が大きかったのに違いない。

その結果が、今日あれだけの結果をうみだしているんです。(P103)」

多くの人を魅了したこの人生成功の哲学に、幸運にも私たちも触れる機会に恵まれました。絶好の機会を創っていただいた、日本経営合理化協会の皆さんにお礼を申し上げます。(山根)

編集後記

私が子供の頃、正月といえば、「歌かるた」として、「百人一首」に親しんだものです。高校生の頃、古典の授業でも習った記憶があります。また、娘が高校生の頃には、「歌かるた」の競技会なども行なわれていました。

「百人一首」は、日本の古い時代の代表的な歌人百人の優れた歌を、一人一首ずつ選んで作られたものです。それらの歌には、難しい言葉や表現方法が使われていて、意味のわかりにくいものもたくさんあります。

しかし、「百人一首」の歌を暗記したり、歌の作られた背景や歌の意味を知っておくと、きっと楽しくなってくると思います。

和歌というものは、ひとのこころのなかのさびしさ、悲しみ、苦しみ、喜びなどを美しい日本語で表現したものです。わたしたちは、それに触れることによって、豊かで美しい日本語を身につけていくことができると思います。(長野)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で3名様に、来年のえと「午(うま)」の張り子(四ツ葉福祉会製)紅白セットを差し上げます。クイズの締切は12月末です。奮ってご応募下さい。

Q:平成25年の流行語大賞に選ばれたことばを全て答えてください。

先月号の答は、「福山博之」でした。雲南市錦織様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

・義足ランナー 義肢装具士の奇跡の挑戦 佐藤次郎 東京書籍

・食品別糖質量ハンドブック 江部康二 洋泉社
・怪物たちの満州帝国 洋泉社
上記2冊は山根社長から寄付

・日経トレンディ 2013年12月号 日経BP社
・週刊ダイヤモンド 2013年11/16号 ダイヤモンド社

発行日:毎月10日
発行:690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野
E-mail:h.nagano@e-skk.co.jp
印刷:授産センターよつば 印刷係
ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

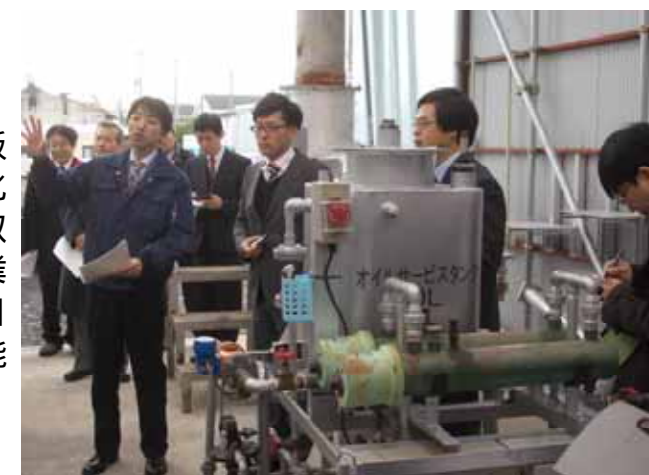
本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。



しまね発 新エネルギー ～福祉・行政・地域が一体となって～

全国で初めてのバイオ再生重油(仮称)ができました。それに伴いJIS化にむけ、福祉の力で天ぷら油を回収するしくみをつくりまします。経済産業省からの視察を受け、本事業の注目度・重要度を再認識し、事業化の可能性をはかっていきます。



当工場、バイオ再生重油関連装置の見学

11月20日、バイオ再生重油事業の一環で、「第2回廃食用油回収プロジェクト全体会議」が行われました。経済産業省、島根県、出雲市、NPO法人、社会福祉法人、所属組合そして当社メンバーです。

会議では、バイオ再生重油(仮称)のJIS化制定の動向、事業系廃食用油の排出状況、回収手順(作業マニュアル、回収容器の選定)の検討状況について、各担当者から報告がありました。使用済み天ぷら油を回収する容器の選定の要望や、回収を行う福祉法人からは、機能性についての質問、技術指導者からは科学的見

地での意見など、今後の開発への貴重な意見がたくさん寄せられました。

これからどう進めていくか事業メンバーである福祉の方々、オイルリサイクル協同組合と連携を密にし、また行政機関にアドバイスをいただきながら、作り込みたいと思います。

今後回収した使用済み天ぷら油は再生重油と一定割合で混合し、バイオ再生重油(仮称)として販売する予定です。

天ぷら油を出して頂いた家庭の主婦の方々や、集めて頂いた福祉の方々が『やって良かった』と思って頂けるように、この燃料の価値をどう高めて、お客様にその高い価値を感じて頂けるかも同時に考えていきたいと思っています。



全体会議の様子



すべてはお客さまからのご信頼のために

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

今月15日関東の同業者の工場で、原料の揮発性物質によると考えられる爆発事故が起こり、2名の方が死亡された。ご冥福をお祈りします。

直後私たちの取った対策は、まず近隣の方たちへ、事件の概要。さらに私たちの施設での現状の安全対策。消防法に適合している。そして順次改善していくことを文書にしてお知らせした。

この対策の目的は、まず住民の人たちへ現状をお伝えし、理解してもらい、安心してもらうことにあります。

なぜなら企業がその場所に立地し続けることができるためには、まず付近住民の方たちからの、私たちへの理解と信頼があることが必須です。特に私たちは危険物を扱っています。私たちは慣れていていると思っけていても、ひとつ取り扱いを誤れば、火災、爆発が起こることは、今回の同業者の事故を見てもわかります。

事故が起これば、同じ場所に立地し続けることに付近住民の方は、おそらく反対する可能性が圧倒的に高い。その瞬間に事業の継続は困難になります。だからまず不十分でも、まず現状のご理解と今後の

改善を住民の方たちへお約束したのです。

次に工場の安全・安心化への改善について。私たちは平成21年に、低引火点原料への引火の危険を防止する改善を行いました。その時の講師は石油元売り出身のM顧問と工場改善が専門のK顧問でした。

そのあと、社員が開発した工場巡回（15分一回）することによって、目、鼻、耳の五感を使い、ペーパー、異臭、漏れ、流量、詰まりを確認する方式が継承されている。

今新たに、社会的にBCP（事業継続計画）が必要とされていることと相まって、今後は今まで実行してきたことを計画に従って見直す。今回新たに原料収集段階でのチェックを、計画し実施する。そしてその上に改善、改良を加えていく。

その私たちの持つ良いところを、問題があり改善が必要なところも一緒に、付近住民の方、企業のお客さま、地域の市民の方たちへ広く広報する。

これからは地域の市民の方たちからのご信頼があつて初めて、私たちの価値が高くなることを強く認識して欲しい。

私はこう考え、こう実行します

- 【安原】住民の方やお客さまから見た安全・安心な対策を考え実行する。
- 【松下】現場では、安全な作業を行なうことで、お客さまに安心していただく。
- 【河上】周りの方々が安心できる作業を行なう
- 【岸本】お客さまに信頼していただけるように、改善、改良を全ての面で行う。
- 【榎並】お客さまに安心していただけるように、情報提供、発信をしていきます。
- 【山口】私は安全対策を改善していきます。
- 【吾郷】私は、お客さまに「安全・安心」をお届けします。
- 【大國】丁寧な説明を心掛ける。
- 【木村】安全に作業するため、工場巡回を今まで通り行なう。
- 【木村憲】全体を見直す。
- 【植尾】一つ一つの作業を確認して実行する。

- 【長谷川】お客さまからの信頼を第一に考え行動します。
- 【横地】危険物輸送のプロという自覚を持ち、基本に忠実に取り組みます。
- 【高橋】私は、安心安全な商品作りをします。
- 【松本】今までの作業を見直し、さらに高いレベルの安全安心を目指します。
- 【岡田】慣れた作業こそ、初心を忘れずに作業する。
- 【恩村】地域の方たちに元気よくあいさつします。
- 【小村】今までの作業手順を一から見直し、事故やケガがないように安全性を高めます。
- 【藤原】お客さまに安心していただける廃油タンクを修理します。
- 【金森】安心・安全を徹底します。
- 【藤原大】漏油事故のないようホースがしっかりしまっていることを確認します。

- 【安達】五感を使い、細心の注意をはらい原料を取り扱う。
- 【野々村】日々、安全意識を高め、業務に取り組みます。
- 【田中】作業中はKYを考え、行動します。
- 【宮北】社内、社外の方々から信頼される行動を心がけます。
- 【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)を徹底し安全作業ができるように常にチェックして、作業を行います。
- 【石橋】危険物を取り扱っていることを頭に入れ、安全な作業を行ないます。
- 【清水】私は、改善方法を考え、より安全に作業します。
- 【足立】私は自分のやるべきことを正しく、丁寧に行ないます。
- 【藤田】ルールを守り、誠実に仕事に取り組みます。
- 【長野】周囲の方から信頼が得られるよう、慎重な作業を行なう。

松江市環境フェスティバル 天ぷら油が変身...

11月17日、くにびきメッセで、松江市環境フェスティバルが行われました。地球環境の保護をテーマに約1万人が来場しました。

私たちのブースでは、使用済み天ぷら油を使って、クリスマスキャンドル作りを行いました。使用済み天ぷら油が燃えることをお客様に実感していただき、それが役に立つことを訴えました。

開場から中学生や子供連れの主婦の方に大盛況で、みなさん、好きな色を選んで、キャンドル作りを楽しんでいただきました。

今後もこのような活動を通して、お客様と一緒に、資源を再利用することで環境問題にふれてみようと思います。
(長野)



お客様が作られたすてきな作品です。

ハートや星形も作ってみたいな...

天ぷら油でキャンドルが作れるなんて、びっくり!!

簡単にできて楽しいよ。



新入社員紹介

宮北さん

趣味：釣り
特技：掃除



使用済み潤滑油を精製し、新しいエネルギーとして地域経済の発展に役立っていることに非常に興味を持ち志願しました。

入社して感じたことは、皆さんから大きな声であいさつしていただき、とても元気のある会社だと思います。自分も大きな声であいさつをして、皆さんの顔と名前を早く覚えていきたいと思えます。

大阪から鳥取県智頭町へ移住してきました。とても自然豊かで、空気がきれいで、住みよい町だと感じます。近所の方からも親切にして頂き、全く不便は感じていません。

少しでも早く、皆さんと一緒に戦力となって役に立ちたいと思えます。そして、鳥取県が元気になることを期待します。ご指導をよろしく願います。

ガラスの地球を救え - 21世紀の君たちへ -

手塚治虫著



私は手塚さんの作品をほとんど知りません。「鉄腕アトム」や「ブラックジャック」という本の名前だけ知っている程度ですが、本書を読んで改めて手塚作品を読んでみたくなりました。

20年以上も前に亡くなった手塚さんが、70年近く前から、未来の技術の進歩を想像し、同時にそれを心配し、マンガを書いていたことに、とても驚きました。

最近、本書を読んでいて、手塚さんは今の日本や世界の現状を見て、地球は急速に死にかかっていると感じているのだと思っていました。2011年の震災があって、ようやく私も原発に対する不安、限りある資源の大切さなどを感じるようになっていたので、とても共感します。

手塚さんがいうように私たちは豊かさを求めて、自然や生物を大切にしていなかったことを反省し、未来の子供たちのために、想像力をはたらかせて、地球を守ることを考えたいです。(藤田)